

〔果樹『さくらんぼ』〕

■収穫盛期目安

「佐藤錦」の満開期は4月25日で、前年より5日遅く、平年並みとなりました。（園芸農業研究所：寒河江市）

満開期から予想される「佐藤錦」の収穫盛期は6月18日頃ですが、高温が続く場合は生育が早まる可能性があります。収穫遅れのないようにしましょう！

			過熟果・もぎ遅れ注意
品種	収穫始期	収穫盛期	収穫終期
佐藤錦	6/14 頃 (満開 50 日後)	6/18 頃 (満開 54 日後)	6/23 頃 (満開 59 日後)
やまがた紅王	6/19 頃 (満開 59 日後)	6/24 頃 (満開 64 日後)	6/30 頃 (満開 70 日後)
紅秀峰		6/25 頃 (満開 65 日後)	

※ 高温・多日照が続く（予想される）場合は収穫を早める！！（早期収穫）

■病害虫防除

◇**灰星病**…幼果腐れが広く確認されました！（5月15日病害虫発生速報より：県病害虫防除所）発病果は見つけ次第摘み取り、適切に処分し、防除を徹底しましょう！

◇**オウトウショウジョウバエ**…発生に注意しましょう！

「オウトウショウジョウバエ」耕種的対策
・摘果した果実を適正に処分する
・適期収穫を行い、過熟果にならないうちに収穫を終了する
・病害虫・キズ果・過熟果などのもぎ残しはきれいに収穫し処分（土中に埋める）する

■高温障害果・過熟果対策

・着色期以降に多日照や高温が続くことで、高温障害果が発生しやすくなります。熟度が進みやすい日当たりの良い枝先や樹の上部、2年枝基部の果実で発生しやすいため、優先的に収穫しましょう。

・強過ぎる・早過ぎる葉摘みは、高温障害の発生を助長する場合があるため、必要最低限の実施に留めましょう。

・反射シートは、気温上昇につながるため、着色したら速やかに除去し、果実の温度が上がらないようにしましょう。

〔水稻〕

■ 田植え後の水管理

- ・ 活着後は2～3 cm程度の浅水で管理し、分げつの発生を促進します。
- ・ 圃場内の水温を維持するため、入水は温度変化の少ない夜間または早朝に行い、生育量を確保しましょう。
- ・ 強風・低温時は深水（4～5 cm程度）にして稲体を保護しましょう。
- ・ 土壌の異常還元（ワキ）が発生している場合は、ワキの程度に応じて水交換や田干しなど対策を行いましょう。早めの対策が重要です。

ワキの程度	生育への影響	生育初期の対策
圃場に足を踏み込むと 気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
圃場に足を踏み込むと 盛んに気泡を発生する	根張り不良	田干し（2～3日程度） 夜間落水



ワキが発生した圃場に
足を踏み込んだ時の様子

■ 水稻除草剤の使用について

除草剤には枯らすことのできる雑草の大きさ（葉数）に限界があり、限界を超えた雑草に除草剤を撒いても効果不足になり、残草してしまいます。生育の進んでいる雑草を目安にして、適期を逃さず散布しましょう。

水稻除草剤は水を介して土壌表面に処理層を形成します。その処理層が形成されるまで水深を保つ必要があり、除草剤を散布した後、7日間は止水し落水・かけ流しは行わないようにしましょう。自然に落水する場合は、田面が露出する前に除草剤の処理層を壊さないように、ゆっくり入水しましょう。

※除草剤毎に、使用時期や適切な水深が異なります。使用前にラベルを確認しましょう！

⚠ STOP 農作業事故 ⚠

県内では毎年、**さくらんぼ農作業中の転落事故が発生しています！！**また近年は、夏季の平均気温が上昇していることで、**熱中症**を引き起こしやすい環境になっています！！

脚立や高所作業台の点検、ハウスパイプが腐食していないかなど確認し、事故や怪我のないよう十分に気を付けて作業を行いましょう。また、こまめに休憩して水分と塩分を補給するなど熱中症対策も行いましょう。

**さくらんぼ作業
事故防止運動強化期間
及び熱中症対策強化期間
5月12日～7月15日**